

EXT. DESERT

TORM は、妹についての夢／悪夢から引きずり出される。
(機械の蟻、チューブヘッド、チューブ状の胴体。銅の頭蓋骨。)

TORM
Sister!

Torm は周囲の状況に混乱している。

KING
よかった、生きていたか。
てっきり私が君を殺してしまったのかと思った。

King は奇妙な食べ物を差し出す。

TORM
いえ、結構です。
どのくらい気を失っていたの？

KING
四日だ。

TORM
何が起きたの？

KING
海賊どもを全員地獄に吹き飛ばした。
君も一緒に吹き飛ばすところだったかな。

TORM
私のバッグは？ どこ？

KING
あの岩の後ろだ。
ずいぶん大勢の奴らが君を追ってきた。
よほど欲しいものを持っているんだろう。

TORM は急いでバッグのところへ行き、中身を確認する。

KING (CONT'D)
全部そろっているか？

TORM
YES.

KING
それは残念だ。

TORM は彼の意味を理解する。

TORM
海賊が戻ってくるから。

KING

海賊が戻ってくるからだ。

TORM はコンパスを、まるで携帯電話の電波を探すように掲げて、
いろいろな方向へ歩きながら確認する。
しかし KING の対探知装置が干渉している。

KING (CONT'D)

反応は出ない。

鉄のエミッターを設置して、海賊のパトロールから
こちらを見えなくしている。

それでも TORM は試すが、コンパスには何も表示されない。
彼女はそれをしまい、KING の小瓶を取り出す。

TORM

また助けてくれてありがとう。

必要なときに、いつもあなたが現れるみたい。

Torm は KING に小瓶を返す。

KING

どこでこれを見つけた？

TORM

私たちが最初に出会った森で。

KING

森だと？ 不可能だ。

私はこの砂漠に、君が生まれるより前からいる。

TORM

覚えていないの？

私の縄を切ったでしょう。

そのときこれを落としたの。

あなたを追いかけたけど、見つけれなかった。

KING は小瓶を見て、TORM を見て、考え込む。

KING

ああ、世界よ。

私の心を壊し、もっと良い夢を見せてくれ。

これがなければ私は迷ってしまう。

TORM

それは何？

プレス・バイル？

KING

彼女の魂へのコンパスだ。

TORM

彼女？

KING

私のすべて。
過去も、今も、これからも。
私の妻だ。
私が長い間この砂漠にいる理由でもある。

KING は首にかけている小瓶を握る。

KING (CONT'D)

彼女に残された唯一のもの.....最後の息だ。
この小瓶の温もりを感じるまでは、
私は魂など信じたことがなかった。

すべての太陽にはそれを消す手があり、
作られたすべての光をいつか消し去るものだと
受け入れていた。

だが、この小瓶が温かくなると、
彼女が近くにいとわかる。

冷たくなると、
私は彼女の魂がさまよっている場所を探しに行く。

だが年月が経つにつれ、
彼女かもしれない光を求め続けるうちに、
彼女の姿は私の記憶の中で
少しずつ薄れていく。

いつか、彼女の顔を
思い出せなくなるのではないかと恐れている。
彼女の顔は、
夕日の前のほんの数粒の砂のように消えかけている。

KING は目を閉じ、涙を流している。
TORM は近づき、その涙を一粒受け取る。

KING はすぐに目を開く。

TORM は自分の涙を一滴混ぜ、
小さな装置の上に落とす。

TORM

私の妹は Shadow Fever にかかっている。
それが、私がここにいる理由。

その熱は全身を激しく支配して、
すべての神経を苦しみながら締め上げる。

でも成長すると、
夢を制御する脳の機構に
化学的な引き金を送るの。

彼女は KING にプレートを渡す。

TORM (CONT'D)

愛する人が
苦しみながら死ぬとわかっているとき、

唯一の慰めは.....

その人が
美しい夢を見ていたと知ること。

Torm のコンパスがメッセージを送る。
彼女はそれを見に行く。

KING はプレートを見る。
そこには 彼の妻の写真 が映っている。

涙を流しながら、小さく微笑む。

KING
時が君の顔を消そうとしていた。
だが、その夕日が沈む前に
君は戻ってきた。

KING は温かい目で TORM を見る。

KING (CONT'D)
どうやってこんなことをしたのかは
わからない。

だが、この砂漠で
君が何を探しているのだとしても、

私は
それを見つける手助けをしよう。

Torm はコンパスを掲げる。
そこには 一本の木 が表示されている。